

山じまい感謝の集い

有峰森林文化村

令和4年11月3日

主務:石黒指導員 副:加藤指導員

協力:立山カルデラ砂防博物館

今年の山じまい感謝の集いは、11月3日文化の日の開催です。
講師として立山カルデラ砂防博物館の白石学芸員をお迎えし有峰の野生動物について学びました。

・午前中は、快晴の猪根平を動物の視点で歩きました。



まずは、クマに遭遇した時の対処法の実習実演



①-1 カラマツのクマハギの解説



①-2 クマの餌となるミズキの解説



③ イノシシの食痕跡の解説



④自動赤外線カメラによる動物の解説



⑤ イノシシのヌタ場の解説



⑤ イノシシが木に体をこする実演



⑧ クマの糞の解説



⑧ ブナの実の観察

有峰ご常連の参加者でしたが、よく見るとたくさんのフィールドサインがあることを知りました。各ポイントでは丁寧な解説をいただき、お昼時間にオーバーしました。

・午後からは、有峰ビジターセンター内でたくさんのサンプルを交えてのお話です。

有峰森林文化村



白石講師による65インチ画面での説明解説



実物骨格(ツキノワグマ)を手にして解説



ツキノワグマの毛皮をかぶった参加者をモデルに解説



有峰4種のサンショウウオ
(3Dプリンターによる模型)



ノウサギ テン キツネなど毛皮等の展示と解説



最後にヤナギラン(有峰の三女神伝説の一種)の記念播種



薬師岳が白銀 カラマツは黄金



サプライズオプションの森のコンサート
(伊勢指導員のオカリナ演奏)

・楽しく勉強、観察、コンサートとありがとうございました。熊の話、奥がふかく心に残りました。ヤナギラン来年見にきます。
・とても楽しく大自然から学び心身ともにリフレッシュできました。とくに動植物について知ることがいっぱい感謝です。
このほかにも参加のみなさまから大好評の御感想をいただきました。